

2021年世界テコンドー選手権大会日本代表選手選考基準

2021年1月12日

一般社団法人全日本テコンドー協会

1. 本基準の目的

2021年世界テコンドー選手権大会（10月：中国）における日本代表選手選考について次のとおり定める。

2. 派遣方針

オリンピック競技大会への出場権を獲得するには、開催国枠を除くと、現行ルールでは五輪ランキング5位以内、グランドスラム1位、またはアジア大陸別予選で2位以内に入賞する必要がある。2年に一度開催される世界選手権大会はオリンピック競技大会に次いでランキングポイントが高い大会であることから、2024オリンピック競技大会（パリ）を見据え、2021年世界選手権大会にできる限り多くの国内最高レベル日本人選手を派遣する。

3. 選考実施日

2021年3月7日

4. 選考手続

- (1) 強化委員会は、選考実施日に本選考基準に従って代表選手の選考を実施し、その結果を理事会に上程する。
- (2) 理事会にて、本選考基準に則して選考されているか審議し、確定する。

5. 選考基準

(1) 選考対象者

選考対象者は、選考実施日現在、次の①から⑥をすべて満たした者とする。

- ① 当協会に個人会員として登録されている日本国籍を有する者
- ② WTが定める世界選手権大会における年齢要件を満たす者
- ③ 2021年世界選手権大会でメダル獲得または入賞を目指せる日本テコンドー界の期待に応え得る競技力を持つ者
- ④ 当協会の定める定款、倫理規程その他諸規程を遵守している者
- ⑤ その心身の健康状態等に照らし、2021年世界選手権大会に参加できる見込みのある者

⑥ 当協会の強化計画を優先して活動できる者

(2) 選考大会

第14回全日本選手権大会（2021年3月7日：駒沢体育館）を選考大会とする。

(3) 選考階級

選考大会で実施するキョルギの部の男女全階級とする。

(4) 選考方法

原則として、選考大会の各階級1位選手を代表選手として選考する。

(5) 補足事項

選考大会1位選手が選考対象者の要件を満たさない場合、当該階級の派遣および代表選手の選考については、強化委員会での審議を経て理事会にて決定する。

6. 留意事項

(1) 選考対象者の要件の事後的検討の原則禁止

選考実施日後に、選考対象者が前記5. (1) ①から⑥のいずれかに該当しないことを理由として選考対象から外すことはできない。

但し、当該選考対象者が故意又は重大な過失により、前記4 (1) ①から⑥に係る事実について申告をせず、または虚偽の申告をした場合はこの限りではない。

(2) 代表選手の追加選考

強化委員会は、代表選手を辞退または解除された選手がいた場合、上記で定める選考実施日に関わらず、必要に応じて代表選手を追加選考することができる。

7. 選考に関する不服申立

選考について不服がある場合、選考対象者は、スポーツ仲裁規程に従って、不服を申し立てることができる。

8. 代表選手の指定解除

下記①～⑦に該当した場合、当協会の強化委員会及び理事会の決議を経て、代表選手の指定を解除する。ただし⑥については、理事会での決議は不要とする。

① 当協会の強化計画を優先した活動ができない場合

② 正当な理由なく強化方針及び指示に従わない場合

③ 当協会の定める定款、倫理規程その他諸規程違反を犯した場合

- ④ 代表選手として不適切な言動を行った場合
- ⑤ 怪我や疾病により2021年世界選手権に参加できなくなった場合
- ⑥ 代表選手本人から指定解除の申し出があった場合

以上